

プリンストン日本語学校 「豆まき」を実施



プリンストン日本語学校幼稚園部(和田幸子幼稚園部園長)は1日、毎年恒例の豆まきを実施した。子供たちは鬼に負けまいと、自分たちで作成した個性豊かな鬼のお面をかぶり、手に豆を握って出番を待った。愛らしい姿の中にも、鬼を迎え撃つ真剣な表情がうかがえた。やがて鬼が現れると、一瞬たじろぐ様子も見られたが、恐怖を振り払うように力いっぱい豆を投げ始めた。寒空に「鬼は外!」という元気な声が増し、次ぎに勢いを増した豆が飛び交った。子供たちは去っていく鬼を、頬を赤くし、息を弾ませて見送った。今年もまた、子供たちが健康で元気に1年を過ごすことができる福の訪れを感じる1日となった。

楽しい
週刊NY生活
デジタル版
www.nyseikatsu.com

NY育英学園でひなまつり



NY育英学園(8 W. Bawley Ave., Englewood Cliffs, NJ)は、桃の節句と一緒に祝いしたり、ひなあられを食べたり、お雛様・お内裏様を作ったりするひなまつりイベントを実施する。イベント後、希望者には学園の見学も可能。定員は8家族程度まで。参加費は、子どもひとり25ドル、兄弟姉妹も参加可能。一緒に製作をする場合は、ひとりあたり10ドル追加。対象年齢は1歳〜6歳まで。要予約。1〜2歳半の未就学児対象のおひさま、3歳〜6歳の児童対象の「ひなまつり」は2月22日(日)、2歳半〜6歳の児童対象の「ひなまつり」は3月1日(日)に開講する。問い合わせはEメール sunj@nykuai.org まで。

NY補習校W校 幼児部と1年生 節分豆まき



ニューヨーク補習校W校(小島昇校長・児童生徒数433人)は1月31日、恒例の節分豆まきを行った。参加したのは幼児部と初等部1年生の児童たち。この日のために児童たちは、新聞紙で鬼退治の豆を手作り、1年生は教師から節分の説明も受けた。その後赤や青等の鬼に変装した保護者ボランティアに向けて「鬼は外、福は内」と掛け声を上げながら鬼退治をした。お面を付け、棍棒を持った鬼たちを見て怖がる児童の姿もあつたが、元気づけたい日本の節分行事を楽しくした。



ニュージャージー日本人学校(本荘真校長)初等部は3日、「初等部豆まき集会」を開いた。子どもたちは一人一人、心の中に潜んでいる鬼を發表し、その後登場した青鬼に向かって豆に見立てた荷物の中に入れて、鬼退治の準備が完了した。鬼を退治した後、子どもたちの心は晴れやかに変わったようである。さらに、心の中に残っている自分のよさを



心の鬼をおい出せ
NJ日本人学校で豆まき
カードに書き留める時間も設けられた。アメリカにいなから日本の伝統行事に触れる楽しい時間となった。季節の変わり目に当たる節分において、子どもたちは弱心を克服し、困難を乗り越え、心も体も大きく成長していくことを願った。

縦画は真っ直ぐに書き、文字がマスの中に収まるように書きます。
●小学5・6年の部
お弁当箱を開けると作ってくれた人の優しさや温かい真心が伝わり、有り難さが心いっぱい広がった。

子どものくりに幼稚園で豆まき
節分の日、子どものくりに幼稚園では豆まきを行った。この日は、心の中にいる「鬼」と向き合う特別な1日。今年は鬼のお面作りに加え、「鬼ドリンク」を作る活動を取り入れた。このドリンクは、お腹の中にいる鬼を呼び起こす飲み物で子ども達がゴクゴクと一口飲むとお腹の中にある鬼が現れて「なまむしおにだぞー!」「おこりいんぼおにだぞー!」「おこりいんぼおにだぞー!」と会場は一気に賑やかな雰囲気になりました。

おべんとう
鉛筆をしっかりと持ち、正しい姿勢で落ち着いて、ゆっくり大きな字を書きましよう。
●小学1・2年の部
学校で友だちとおべんとうを食べました。

友だちと食べるおべん当の時間はいつも楽しく笑顔になりやすい。
●小学3・4年の部
ひらがなの曲線は大きく柔らかく、文字の「とめ、はね、はらい」をしっかりと書きましよう。

週刊NY生活 第61回春期課題の発表

硬筆書写コンクール

協賛: 米国ゼブラ ZEBRA

硬筆書写コンクール2026年度第61回春期の課題を公表します。ワンポイント・アドバイスを参考にし、見本にある各レベル別の課題を規定用紙に書写し応募してください。

●選考作品の発表 4月11日号
応募締切: 4月1日(水) 必着

●幼児の部
お弁当箱を開けると作ってくれた人の優しさや温かい真心が伝わり、有り難さが心いっぱい広がった。

●小学1・2年の部
学校で友だちとおべんとうを食べました。

●小学3・4年の部
ひらがなの曲線は大きく柔らかく、文字の「とめ、はね、はらい」をしっかりと書きましよう。

●中学の部
お弁当も手書き、文字も人の心が形になったものです。心を込めて料理をし、丁寧に書くことは、素直な感情表現へと繋がります。

●高校・一般の部
万葉の時代から人が整えた食には心が宿ると考えられていた。手書きの文字も同じく書いた人の心が宿り受け取る人の心に静かに根を下ろす。

●応募規定
一点一画の書き直しをよく見ながら、書き始めから書き終わりまで安定した書き振りになるように。

●応募は必ず指定の書写用紙を使用してください。規定用紙は、弊社デジタル版のウェブサイト(www.nyseikatsu.com)からダウンロードできます。

●学年/年齢別の「課題」を書写し、用紙の下部にある必要事項(団体名、連絡先等)を記入。

●他団体やコンクールに未提出で作品であることが前提。応募作品の返却はできません。原則として米国内在住の方の応募に限定。

●紙面掲載作品の中から年間最優秀大賞、優秀賞、年間一番作品点数が多かった団体(学校・教室単位)に団体賞を授与し、協賛の米国ゼブラ社より豪華筆記用具景品の賞品が贈られます。

●作品の送付はできる限りEメール(mto@nyseikatsu.com)でお送りください。作品の画像データをメールに添付して送信ください。(スキルしたPDFデータが望ましい)もしどうしても郵送になる場合は、事前に前述のEメールまでご連絡ください。

aozora COMMUNITY

プリスクール アフタースクール 日本語クラスK-8
サマーキャンプ デイキャンプ 春キャンプ 冬キャンプ

あおぞらコミュニティ info@aozoracommunity.org www.aozoracommunity.org
クリントンヒル校 535 Clinton Ave, Brooklyn 347-721-3521
プロスペクトハイツ校 238 St Marks Ave, Brooklyn 929-624-2287

広尾学園 中学校 高等学校
HIROO GAKUEN Junior & Senior High School

インターナショナルコース/医進・サイエンスコース/本科コース

広尾学園は、学校教育法の「一条校」です。海外帰国子女受け入れ指定校第1号として国際化する教育のニーズに応じてきました。トップレベルの英語教育の研究・実践で国内・海外での進学実績を伸ばしています。

ウェブサイト: http://www.hiroogakuen.ed.jp/
お問い合わせ: kokusai@hiroogakuen.ed.jp (国際担当: 岩崎)
〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-14 • 東京メトロ日比谷線広尾駅徒歩1分